

サマンサ シャン

MSc, PGCert, Dip COT (UK), FRCOT

サマンサは 1992 年に作業療法養成校を卒業し、作業療法士となる。卒後は地域リソースが乏しい環境から豊富な環境まで、幅広い臨床・教育現場で経験を積み、政府・組織・サービスレベルでの変革に努めた。

サマンサは世界作業療法士連盟（World Federation of Occupational Therapists; WFOT）の会長を務め、国際車椅子専門家協会（International Society of Wheelchair Professionals; ISWP）の立ち上げ委員会のメンバーでもある。また、世界保健機構（World Health Organisation ; WHO）の世界リハビリテーション連盟（World Rehabilitation Alliance）の運営委員であり、Workforce グループの副議長を務める。

現在、英国在住のサマンサは、リハビリテーションとコンサルテーションサービスを提供する民間作業療法サービスのダイレクターを務める。

世界の作業療法士達から慕われている。Royal College of Occupational Therapists（英国）の Fellow（特別研究員）も務め、30 年以上、作業療法サービスをデザインし、提供してきた経験を有する。リーダーシップ、アドボカシー、カリキュラムデザイン、サービス改善に対する知見を国際的にも発信し、メンターとしても活動する。サマンサは、作業療法の発展に情熱をもって取り組んでいる。